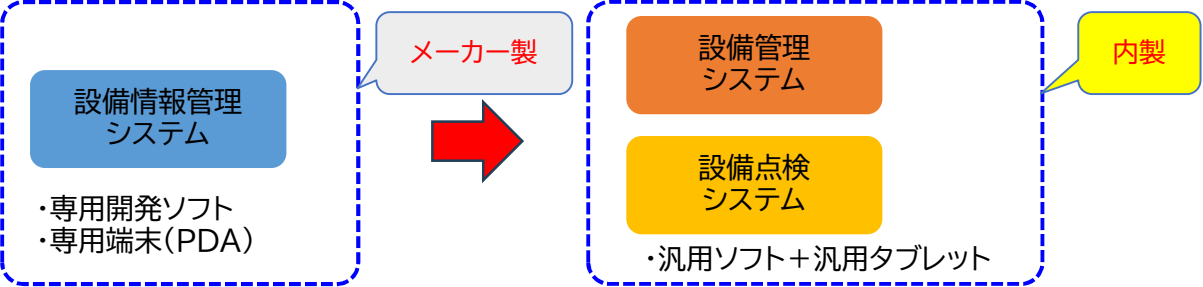
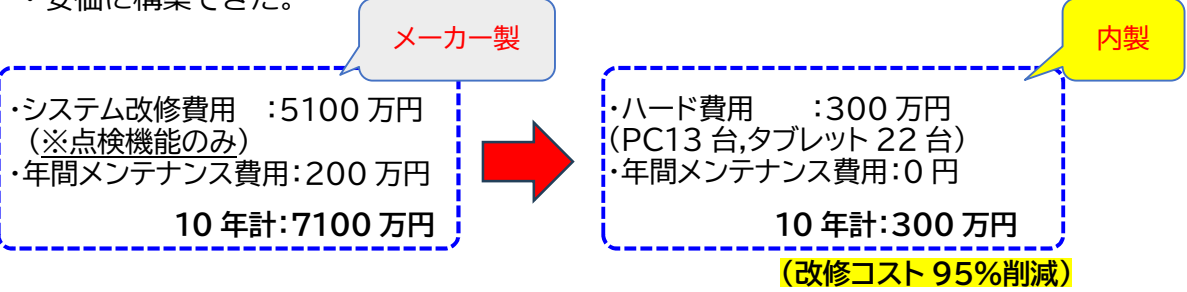


令和5年度 下水道維持管理業務取組み発表会
発表概要

<p>所属 御笠川浄化センター施設係</p>
<p>発表タイトル 設備情報管理システムの更新について</p>
<p>取組の目的 設備台帳、及び点検システムを兼ねた「設備情報管理システム」が稼働してから約20年（H14～運用開始）が経過し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムがOSアップデートに追従できなくなった ・点検用PDAの故障が多発、部品供給も中止となり保守が出来なくなった。 ・データ更新の停滞による陳腐化 <p>などにより、システム更新の必要性が切迫してきたため、汎用ソフトにて内製した。</p>
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般的なオフィスソフト（Excel, Access）や、無料データベースソフト（SQL Server Express）を用い、汎用ソフトのみでシステムを構築した。 ・点検端末にはWindowsタブレットを使用し、タッチ入力による使いやすいシステムとし、また、汎用品を採用することにより、修理・交換も容易にした。 
<p>取組成果・効果 汎用ソフトと、汎用ハードを用い、システムを内製することにより、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見を反映した使いやすいシステムとなった。 ・安価に構築できた。  <ul style="list-style-type: none"> ・汎用ソフト・ハードで構成したため、OSアップデートに追従が容易で、端末故障時も容易に修理・入替が可能となり、可用性が上がった。 ・点検票の登録・管理は、維持管理業者にて行うこととし、情報量を絞ることにより、データ登録の煩雑性を低減し、データ登録の継続性に配慮した。また、専門業者のメンテナンス契約も不要とした。